

小児科 Pediatrics

1. スタッフ構成

○山本 英一(小児医療センター長)

1990年愛媛大学医学部卒

専門分野:小児循環器、小児救急、小児一般・保健

資格:日本小児科学会小児科専門医、日本小児循環器学会小児循環器専門医・評議員、日本小児救急医学会代議員・小児救急スペシャルインタレストメンバー、日本子ども虐待医学会代議員・BEAMS認定講師、厚生労働省臨床研修指導医

○中野 直子(主任部長、小児医療センター副センター長)

1994年愛媛大学医学部卒

専門分野:小児免疫疾患、自己炎症疾患、小児一般・保健

資格:日本小児科学会小児科専門医、日本リウマチ学会リウマチ専門医・指導医、日本アレルギー学会アレルギー専門医、日本小児リウマチ学会理事、日本脊椎関節炎学会評議員、厚生労働省臨床研修指導医

○森谷 友造(部長)

2003年愛媛大学医学部卒

専門分野:小児循環器、小児一般・保健

資格:日本小児科学会小児科専門医、厚生労働省臨床研修指導医

○永井 功造(部長)

2003年愛媛大学医学部卒

専門分野:小児血液・腫瘍、小児一般・保健

資格:日本小児科学会小児科専門医、日本血液学会血液専門医・血液指導医、日本小児血液・がん学会小児血液・がん専門医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・がん薬物療法指導医、日本造血・免疫細胞療法学会造血細胞移植認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、厚生労働省臨床研修指導医

○河邊 美香(部長)

2007年愛媛大学医学部卒

専門分野:小児神経、小児一般・保健

資格:日本小児科学会小児科専門医、厚生労働省臨床研修指導医

○吉田 安友子(医長)

2013年愛媛大学医学部卒

専門分野:小児アレルギー、小児一般・保健

資格:日本小児科学会小児科専門医、厚生労働省臨床研修指導医

○杉 海秀(医長)

2015年愛媛大学医学部卒

専門分野:小児神経、小児一般・保健

資格:日本小児科学会小児科専門医

○友松 佐和(医師)

2016年愛媛大学医学部卒

専門分野:小児血液・腫瘍、小児一般・保健

資格:日本小児科学会小児科専門医

○竹本 隼(専攻医)

2020年愛媛大学医学部卒

専門分野:小児一般・保健

○江口 真理子(診療委託)

○元木 崇裕(診療委託)

○平井 洋生(診療委託)

○勢井 友香(診療委託)

○長谷 幸治(診療委託)

○高田 秀実(診療委託)

○千阪 俊行(診療委託)

○渡部 竜助(診療委託)

○小西 恭子(診療委託)

○小泉 宗光(診療委託)

○石田 也寸志(診療委託)

2. 実績

■ 疾病分類別入院患者数

疾患名	患者数
呼吸器(RSを含む)	109
けいれん、神経	77
感染症	84
膠原病、自己炎症性疾患	57
消化器(胃腸炎、腸炎、腸重積含む)	59
血液腫瘍	68
気管支喘息	50
循環器	47
腎臓(尿路感染含む)	24
代謝内分泌	13
アレルギー	26
事故、虐待	12
外科系	6
Covid-19	70
その他	25
合計	727

■ 16歳未満の救急搬送患者数

	患者数
救急車、ヘリ、ドクターカーでの来院患者数(全科)	408
三次救急での来院患者数	38
小児科患者数	331
入院した患者数(全科)	163
小児科入院患者数	109

3. 2023年度目標

- (1) 連携の推進と専門性の確保

入院が必要な患者さんや専門的な判断が必要と思われる患者さんを多くご紹介していただいています。紹介していただいた先生方の満足できる診断、治療、結果を得よう診療にあたりたいと考えています。退院後は、積極的に逆紹介することで病診連携を図り、当院では、ますます高い専門性のある医療を提供していきたいと考えています。また、コロナ禍で実施できていなかった、開業医の先生方との紹介症例の検討会と勉強会を開催し、情報交換ができる場を持ちたいと思います。

(2) 救急の適正化

昨今の小児救急体制の問題は当科でも同様に抱えています。マンパワーが制限される中で、医療の安全や質を担保した救急を構築していこうと考えています。その上で、高度・専門医療に関して愛媛の小児医療の最後の砦となるべく、他院・他科の小児チームと連携して、役割を十分に機能できるよう努力していきます。

(3) 療育

当院は NICU を併設し、救急医療からもさまざまな療育を必要とするに至る子どもたちがいます。そういった子どもたちの数は年々増加の一途を辿っています。この子どもたちをいかにうまく療育につなげていくか、その仕組みを構築していこうと考えています。

(4) 子ども虐待予防

子ども虐待は年々増えており、社会問題になっています。救急病院である当院は、被虐待児に関わる可能性が十分あります。早期に他施設や多職種機関と連携を取り合いながら、子どもたちやそのご家族をサポートし、子ども虐待予防に努めていきたいと考えています。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

【シンポジウム、教育講演】

- 山本英一. 子どもたちが苦痛なく安全に処置を受けられるために—処置時における鎮静鎮痛手引き—. 第 35 回日本小児救急医学学会学術集会. 東京・Web 開催 (2022.7.29-31)
- 中野直子. 垣根のない小児リウマチ医の未来(ダイバーシティ推進委員会企画シンポジウム). 第 31 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会. 新潟・Web 開催 (2022.10.14-16)
- 石田也寸志. 小児がんの晩期合併症と QOL. 第 10 回 QOL-PRO 研究会学術集会. Web 開催 (202.12.24)

【講演】

- 山本英一. 医療機関対象虐待研修プログラム BEAMS stage1. 愛媛大学医学部開催. 東温 (2022.2.15)
- 山本英一. 川崎病の診断と治療～新たなガイドラインを踏まえて～. 小児日常診療 update. 松山・Web 開催 (2022.2)
- 山本英一. 児童虐待事例検討会「あなたならどうする?」. 令和 3 年度愛媛県児童虐待防止医療ネットワーク事業研修会. 松山・Web 開催 (2022.3)
- 山本英一. 医療機関対象虐待研修プログラム BEAMS stage1. 愛媛県立中央病院開催. 松山 (2022.6)
- 山本英一. 急病時の子どものみかたと受診の目安. 松山乳児院開催. 松山 (2022.6)
- 山本英一. 重症心身障害児の呼吸について. 児童発達デザインサービス開催. 松山 (2022.6)
- 山本英一. 医療機関対象虐待研修プログラム BEAMS stage3, 通告と告知. 日本子ども虐待医学会. 松山 (2022.7.2-3)
- 山本英一. 医療機関対象虐待研修プログラム BEAMS stage1. 日本子ども虐待医学会. 仙台 (2022.7.22-24)
- 石田也寸志. 小児がん治療の進歩. 東京大学大学院家族看護学特別講演. 東京 (2022.7)
- 石田也寸志. 小児がん経験者の長期フォローアップ. 東京大学大学院家族看護学特別講演. 東京 (2022.7)

- 山本英一. 酵素補充療法を行ってきた大動脈弁膜症を有するムコ多糖症 II 型双胎児例の経験. MSP II webinar エキスパートに訊く循環器編. Web 開催 (2022.7)
- 山本英一. 医療機関対象虐待研修プログラム BEAMS stage1. 松江赤十字病院開催. 松山・Web 開催 (2022.8)
- 石田也寸志. 小児がんが治った後は?. Smile Action in 愛媛 市民公開講座. 松山 (2022.9.10)
- 石田也寸志. 小児がんの長期フォローアップ(特に網膜芽細胞腫に関して). 第 3 回 RB セミナー. 東京 (2022.10.8)
- 河邊美香. 災害対策からみた医療的ケア児等の生活について. 第 6 回愛媛小児在宅医療研修会. 松山・Web 開催 (2022.10.8)
- 河邊美香. 医療的ケアを必要とする児への学校での支援について. 令和 4 年度愛媛県学校保健会研修会. 松山・Web 開催 (2022.10)
- 山本英一. 児童虐待について(医療機関における発見・対応). 市立宇和島病院開催. 宇和島・Web 開催 (2022.11)
- 山本英一. 医療機関対象虐待研修プログラム BEAMS stage1, 2. 愛媛県立中央病院開催. 松山 (2022.11)
- 河邊美香. 医療 1. 障害がある子どもの成長と発達の特徴. 医療 2. 日常生活における支援. 令和 4 年度愛媛県医療的ケア児等支援者養成研修. オンデマンド配信 (2022.12.19-2023.1.6)

【学会発表・海外】

- Yasushi Ishida. Unique needs and concerns of childhood cancer survivors. 2nd International Congress of Asian Oncology Society. Soul・Web 開催 (2022.6.6-18)
- Yasushi Ishida, Hayashi M, Ogawa A, Ozono S, Okimoto Y, Inada, H, Kikuta A, Kinoshita Y, Matsumoto K, Horibe K, Maeda M, Yabe H, Yoneda A, Yanagisawa T, Manabe A. Analysis of Childhood Cancer Survivors Receiving Hospitalization Benefits under the Heart-Link Mutual Insurance. The 54th congress of SIOP. Barcelona・Web 開催 (2022.9.28-10.1)

【学会発表・国内】

- 森谷友造, 河本敦, 宮田豊寿, 田代良, 千阪俊行, 太田雅明, 高田秀実, 山本英一, 檜垣高史. 治療介入を要した先天性門脈体循環シャントの 6 例について検討. 第 58 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 北海道 (2022.7.21-23)
- 藤原優子, 山本英一. 熱傷からペン挿入による直腸穿孔に至った事例を通して. BEAMS in Ehime 事例検討会. 松山 (2022.7)
- 石田也寸志, 林三枝, 小川淳, 大園秀一, 稲田浩子, 木下義晶, 松本公一, 米田光宏, 柳沢隆昭, 真部淳. ハートリンク共済で入院給付金を受給した小児がん経験者の検討 Analysis of Childhood Cancer Survivors Receiving Hospitalization Benefits under the Heart-Link Mutual Insurance. 第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会. 東京・Web 開催 (2022.11.25-27)
- 林三枝, 井上富美子, 上別府圭子, 小川純子, 高橋和子, 竹内菊博, 笹崎義博, 庄司義興, 林直樹, 石田也寸志. ハートリンク共済による小児がん支援と運営状況. 第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会. 東京・Web 開催 (2022.11.25-27)
- 河上早苗, 永井功造, 石田也寸志, 野間真依子, 今井剛, 石前峰斉, 江口真理子. 環状 21 番染色体を有し, iAMP21 を疑った BCP-ALL の 9 歳女児. 第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会. 東京・Web 開催 (2022.11.25-27)
- 谷本英里, 波多野恵, 細谷要介, 吉本優里, 長谷川大輔, 真部淳, 石田也寸志, 小澤美和. 包括的コホート研究による小児がんサバイバーの糖代謝・生活習慣の長期フォローアップ報告. 第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会. 東京・Web 開催 (2022.11.25-27)
- 永井功造, 宮村能子, 矢野未央, 江口真理子, 高橋浩之, 鷺尾佳奈, 柴徳生, 佐藤篤, 富澤大輔, 岡本康裕. 小児白血病における治療関連副腎不全の実態調査 Current status of treatment-induced adrenal insufficiency in pediatric leukemia Department of Pediatrics, Ehime Prefectural Central Hospital, Ehime, Japan. 第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会. 東京・Web 開催 (2022.11.25-27)
- 野口伸一, 近藤剛, 宮崎航, 河上早苗, 米澤早知子. 5 年間の無治療経過観察後、腹腔鏡下に摘出した胎児期発見副腎神経節腫の 1 例. 第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会. 東京・Web 開催 (2022.11.25-27)

【学会発表・地方】

- 森谷友造, 山本英一, 吉松佳祐, 吉田安友子, 河邊美香, 永井功造, 河上早苗, 中野直子, 石田也寸志. 新型コロナウイルスワクチン接種後に心筋炎/心膜炎と診断された 3 例の臨床像. 第 103 回日本小児科学会愛媛地方会. 愛媛 (2022.5.22)
- 森谷友造, 山本英一, 吉松佳祐, 吉田安友子, 川邊美香, 永井功造, 河上早苗, 中野直子, 石田也寸志. 不全型川崎病と MIS-C の鑑別に悩んだ 1 例. 第 16 回愛媛発達心臓病研究会. 松山 (2022.10)
- 高岡将彦, 山本英一, 中野直子, 河上早苗, 森谷友造, 永井功造, 河邊

美香、吉田安友子、杉海秀、石田也寸志. 当院入院中に血液培養陽性となった末梢静脈カテーテル関連血流感染症 5 例の検討. 第 104 回日本小児科学会愛媛地方会. 松山 (2022.11.13)

【班会議・その他】

36. 石田也寸志. 小児がん経験者の二次がん・遺伝性腫瘍. JCCG 大規模観察研究プロジェクト説明会. Web 開催 (2022.4)
37. 石田也寸志. JCCG 大規模観察研究について. 2022 年度第 2 回 JCCG 横紋筋肉腫委員会. Web 開催 (2022.8)
38. 石田也寸志. WG6: 二次がん及び遺伝性腫瘍の実態とリスク因子の解明 (AMED 細井班と連携). JCCG 大規模観察研究プロジェクト説明会. Web 開催 (2022.9)
39. 石田也寸志. わが国の小児がんサバイバーの健康・社会生活状況の実態解明に関する大規模調査研究. 令和 4 年度第 2 回 JCCG 血液腫瘍分科会合同班会議. Web 開催 (2022.12)

【研究会】

40. 中野直子. 劇症型潰瘍性大腸炎の女兒例. 四国小児 IBD 研究会. Web 開催 (2022.3)
41. 河上早苗、永井功造、石田也寸志、野間真依子、加賀城真理、今井剛. 当院で治療を行った腎門細胞性肉腫の 2 例. 第 27 回愛媛小児血液・悪性腫瘍研究会. 松山 (2022.6.24)
42. 中野直子. 愛媛県における小児 IBD 診療. 西日本小児リウマチ研究会. Web 開催 (2022.7)
43. 中野直子. 長期ステロイドフリー寛解中に再燃したルーブス腎炎. 西日本小児 SLE 研究会. Web 開催 (2022.9)

(2) 論文・著書

【論文・英文原著】

1. Hayakawa A, Sato I, Kamibeppu K, Ishida Y, Inoue M, Sato A, Shiohara M, Yabe H, Koike K, Adachi S, Satsuta Y, Yamashita T, Kanda Y, Okamoto S. Impact of chronic GVHD on QOL assessed by visual analogue scale in pediatric HSCT survivors and differences between raters: a cross-sectional observational study in Japan. *Int J Hematol* 115(1). 123-128 (2022.1)
2. Harada M, Kimura F, Takai Y, Ishida Y, et al. Japan Society of Clinical Oncology Clinical Practice Guidelines 2017 for fertility preservation in childhood, adolescent, and young adult cancer patients: part1. *Int J Clin Oncol* 27(2). 265-280 (2022.2)
3. Tozawa A, Kimura F, Takai Y, Ishida Y, et al. Japan Society of Clinical Oncology Clinical Practice Guidelines 2017 for fertility preservation in childhood, adolescent, and young adult cancer patients: part2. *Int J Clin Oncol* 27(2). 281-300 (2022.2)
4. Kuno M, Yamasaki S, Fujii N, Ishida Y, Fukuda T, Kataoka K, et al. Characterization of myeloid neoplasms following allogeneic hematopoietic cell transplantation. *Am J Hematol* 97(2). 185-193 (2022.2)
5. Mai Kawazoe, Toshihiro Nanki, Noboru Hagino, Noriko Ikegaya, Satoshi Ito, Masanari Kadera, Naoko Nakano, Miki Suzuki, Shinya Kaname, Masayoshi Harigai. Clinical characteristics of patients with polyarteritis nodosa Based on a Nationwide Database in Japan. *Mod Rheumatol* 32(3). 598-605. doi:10.1093/mr/roab019 (2022.4.18)
6. Niinomi K, Mihira H, Ochiai R, Misawa A, Takigawa K, Kashiki N, Kakee N, Takata H, Ishida Y, Higaki T. Hospital Support for Siblings of Children With Illness in Japan. *Front Pediatr*. 10.927084. doi:10.3389/fped.2022.927084 (2022.5.30)
7. Koizumi M, Kuzume K, Ishida Y, Midoro-Horiuti T. Serum thymus and activation-regulated chemokine(TARC) levels correlate with atopic dermatitis disease severity in patients<6months. *Allergy Asthma Proc* 43(5). 461-467 (2022.9)
8. Tomizawa D, Tsujimoto SI, Tanaka S, Matsubayashi J, Aoki T, Iwamoto S, Hasegawa D, Nagai K, Nakashima K, Kawaguchi K, Deguchi T, Ki-yokawa N, Ohki K, Hiramatsu H, Shiba N, Terui K, Saito AM, Kato M, Taga T, Koshinaga T, Adachi S. A phase III clinical trial evaluating efficacy and safety of minimal residual disease-based risk stratification for children with acute myeloid leukemia, incorporating a randomized study of gemtuzumab ozogamicin in combination with post-induction chemotherapy for non-low-risk patients(JPLSG-AML-20). *Jpn J Clin Oncol*. 52(10). 1225-1231 (2022.10.6)
9. Yoshimoto-Suzuki Y, Hasegawa D, Hosoya Y, Saito G, Nagase K, Gunji M, Kobayashi K, Ishida Y, Manabe A, Ozawa M. Significance of active screening for detection of health problems in childhood cancer survivors. *Front Pediatr*. 10.947646. doi:10.3389/fped.2022.947646 (2022.10.6)
10. Ishida Y, Kamibeppu K, Sato A, Inoue M, et al. Karnofsky performance status and visual analogue scale scores are simple indicators for quality of life in long-term AYA survivors received with allogeneic hematopoietic stem cells transplantation during childhood. *Int J Hematol* 116(5). 787-797 (2022.

11)

11. Kobayashi K, Ishida Y, Yoshimoto-Suzuki Y, Hasegawa D, Hosoya Y, Saito G, Nagase K, Gunji M, Manabe A, Ozawa M. Factors Related to Employment in Childhood Cancer Survivors in Japan:a Preliminary Study. *Front Pediatr*. 10.961935. doi:10.3389/fped.2022.961935 (2022.12.5)
12. Ozono S, Sakashita K, Yoshida N, Kakuda H, Watanabe K, Maeda M, Ishida Y, Manabe A, Taga T, Muramatsu H. A nationwide survey of late effects in survivors of juvenile myelomonocytic leukemia in Japan. *Pediatric Blood & Cancer* 70(2). e30126 (2022.12.10)
13. Ayusawa M, Iwamoto M, Ushinohama H, Kato Y, Kato T, Sumitomo N, Toyono M, Yasuda K, Yamamoto E, Yoshinaga M, Izumida N, Tauchi N, Horigome H, Higaki T, Hokosaki T, Abe K, Nagashima M, Aragaki Y, Ogawa S, Kato T, Takahashi N, Hiraoka M. Guideline for Secondary Screening of Heart Disease in Schools: Electrocardiographic Findings of the Initial Screening(JSPCCS2019). *Journal of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery*. (in press)

【総説】

14. 前田美穂、石田也寸志. 小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関する研修会(LCAS). *日本小児血液・がん学会雑誌* 59(1). 7-11 (2022)
15. 今井剛、石田也寸志. 小児 AYA がんの長期フォローアップ. *医学のあゆみ* 280(1). 109-115 (2022)
16. 大園秀一、石田也寸志、前田美穂、大植孝治、上別府圭子、清谷知賀子、竹之内直子、長祐子、湯坐有希、家原知子、宮村能子、檜山英三、松本公一、大賀正一. 小児期発症血液腫瘍疾患の成人への移行支援に関する基本的姿勢. *日本小児血液・がん学会雑誌* 59(1). 58-65 (2022)
17. 石田也寸志. 小児がん患者における新型コロナウイルス感染症(COVID-19). *日本小児血液・がん学会雑誌* 59(2). 151-162 (2022)
18. 石田也寸志. 小児がん患者における新型コロナウイルス感染症(COVID-19). *日本小児血液・がん学会雑誌* 59(3). 324-330 (2022)
19. 野間真依子、石田也寸志. 小児がんの初発症状としての発熱. *小児看護* 45(4). 418-423 (2022)

【監修】

20. 山本英一. 小児科総論「小児保健」「診察」. 病気が見える vol.15 小児科 (第 1 版)(MEDIC MEDIA). 32-59 (2022.10)

【著書】

21. 中野直子. E.血管炎 5.川崎病. リウマチ病学テキスト改訂第 3 版. 南江堂. (2022.5.5)
22. 石田也寸志. 第 3 章.造血細胞移植 6.移植後合併症 e.移植後晩期合併症. 小児血液・腫瘍学改訂第 2 版. 診断と治療社. (2022.6.21)
23. 石田也寸志. 第 6 章.晩期合併症 1.長期フォローアップ. 小児血液・腫瘍学改訂第 2 版. 診断と治療社. (2022.6.21)
24. 石田也寸志. 第 6 章.晩期合併症 2.各論 k.二次がん. 小児血液・腫瘍学改訂第 2 版. 診断と治療社. (2022.6.21)